

女子医大東医療センターの移転に伴う新たな区の基本方針



東京女子医大東医療センターの足立区移転が決定したことに伴って、現病院を有効活用して災害拠点病院（200床以上）を確保するために、具体的な方針が報告されました。

荒川区が土地・建物を購入する方向で女子医大と合意。今後、金額等詳細について協議をすすめていく。

病棟として現在の外来棟と東病棟を残し活用するために医療機関（災害時の対応・地域医療の拠点・急性期からリハビリ在宅療養までの健康づくりの拠点となる病院）の公募を行い、今年度中に決定する。

1号館・画像診断棟・管理棟・看護学校の部分は宮前公園として整備する。また都電通り先、女子医大所有の博友寮（7月閉鎖）と元至誠会保育園跡地も購入し、宮前公園を拡張する。都市公園整備部分は東京都から土地購入費100%補助がある。

2021年度



内の移転後、必要な改修工事を経て新たな医療機関が開設できるように準備をすすめる。

小児救急、産婦人科の継続、新たに必要な診療科目や医療体制など今後の具体化で必要な意見を区にあげていきたいと思えます。



小林行男

区政区議会報告・地域情報を週刊で発行しています
日本共産党荒川区議員

ご意見をお寄せください

区政ニュース

NO.697
2018.9.2

区議会控室

TEL 3802-4627

FAX 3806-9246

Email: arajcp@tcn-catv.ne.jp

ホームページ

http://www.tcn-catv.ne.jp/jcpara/

東尾久相談室

東尾久2-37-3

TEL・FAX

3895-0508

障害者雇用率の水増し!荒川区は?

FAX! いただきました

法律で定める雇用率を農林水産省等の複数の省庁で雇用率を膨らませた可能性があるという報道がありました。民間にきびしく指導する省庁が、ごまかしをした疑いがあるという、本当なら許せない。私は言いたい「障害者をばかにするな」と行政の不信は前から持っていたけれど情けない。荒川区役所はどうなんですか。調査をしてほしい。(東尾久在住)

障害者雇用促進法は、障害者を一定の割合で雇い入れるように義務づけ、企業が2.2%、国・地方公共団体は2.5%などと定められています。

法定雇用率に満たない企業は、不足人数1人あたり月額5万円を国に納付する仕組みです。民間には厳しいペナルティーを科しながら、範を示すべき中央省庁がいいかげんな算定にはびっくりです。

障害者雇用率水増し偽装は、4年前にも厚生労働省管轄の「労働者健康福祉機構」(現・労働者健康安全機構)で発覚しており、再発防止を怠った安倍政権の責任が厳しく問われます。「実雇用率」は、常勤職員の数+非常勤職員の数×0.5を分母に障害者の常勤+非常勤×0.5で割り返して計算します。

荒川区は6月1現在障害者雇用数47名。実雇用率は2.70%となっています。

毎年、障害者手帳で確認のうえ、行っているとのこと。さらに雇用の場の拡大こそ求められます。



足立区の江北エリアに移転する東医療センターの概要。2019年春の着工、2021年度の開院を目指す。施設規模は、病院棟は地下1階地上10階建て延べ5万2150㎡で免震構造を採用、屋上に災害時用のヘリポートを設ける。病床数は、450床。

法律相談会



毎月第3火曜日(午後6時から)北千住法律事務所の弁護士による法律相談会をおこなっています。できるだけ事前にご連絡ください。また、暮らし・区政などのご相談はいつでもお気軽に

9月の相談会は、 9月18日(火)

尚、お急ぎの方は、弁護士事務所と連絡して、ご相談できますのでお気軽に声をかけてください。

米軍横田基地 (東京)

特殊作戦機・オスプレイ10月配備

低空飛行ルートでの訓練が日常化

米軍は空軍特殊作戦機CVオスプレイを10月1日に横田基地に正式に配備することを周辺自治体に通知しました。

すでに横田基地を拠点に、日本各地で訓練が本格化しています。

4月以降、横田基地（東京都福生市など5市1町）で300回を超える離着陸を行っている米空軍の特殊作戦機CV22オスプレイが、8月に離着陸を急増させ、日本全土で訓練を行っていることが羽村平和委員会の調査で分かりました。

CV22の配備は当初、来年10月以降の計画でしたが、今年4月3日、突如「今夏」への前倒しを発表。目視での調査によれば、4月10回、5月5回、6月17回と推移しましたが、7月に105回と急増。

横田基地でのCV22オスプレイの離着陸回数(4/5~8/22)



8月は22日現在で176回に達しています。

最も多かったのが8月16日。2機が約1時間40分の間に20回ずつ離着陸訓練を行いました。

横田には普天間基地（沖縄県宜野湾市）に配備されている米海兵隊のMV22オスプレイも頻繁に飛来。首都圏が沖縄と並ぶオスプレイの訓練拠点として強化されています。

横田での離着陸は大半が夕方から夜間に集中しており、午後9時台の着陸もめずらしくありません。

青森県、埼玉県、山口県、沖縄県など、全国各地への飛来・目撃も相次いでいます。

墜落事故が相次いでいるオスプレイの配備に対して、住民や自治体は強く反発し不安を募らせています。

このため、日米両政府はCV22に関する情報をひた隠しにし、なす崩し的に日本への配備計画を進めてきました。こうした姿勢を批判するとともに、全国各地で動きを監視し、配備撤回の声を高めていくことが求められます。

「日本各地がアメリカの戦争のための格好な訓練場にされている」と言われても仕方がない実態です。沖縄をはじめ、全国の米軍基地の撤去こそ求められます。

「ゆいの森あらかわ」100万人突破!



作家吉村昭さんの記念文学館や中央図書館などが一体となった荒川区の複合施設「ゆいの森あらかわ」の入館者数が8月23日、開館1年5カ月で来館者、100万人を達成した。

記念セレモニーで百万人目の認定証や花束が贈られました。「ゆいの森」は施設は昨年3月にオープンし、一日の平均来館者数は約2千人。

乳幼児向けの遊び場や図書館の本を持ち込めるカフェもある。区の担当者は「赤ちゃんから大人まで幅広い世代が利用できる」と魅力をアピールしています。



JR貨物グループ

隅田川駅 貨物フェスティバル 2018

9/30(日) 10:00~15:00 (最終入場14:30)

オリジナルグッズ販売、特設ステージ、鉄道模型の展示、子ども運転士体験、じゃがいも・たまねぎを1袋特別価格で提供

【イベントのお問い合わせ先】JR貨物関東支社 総務課 ☎ 03(375)5071(平日) 03(375)5072(土日祝)



○35度を超える猛暑日が続いています。明日は30度いわれるとホッとするのは私だけでしょうか。身体に大きなダメージを受けている方も多いと思います。猛暑対策のエアコンなどに対する緊急補助制度も多くの区民のみなさんにご利用いただいています。対象期間は8月31日まで申請は9月28日まで受け付けてます。お忘れなく!